

AI活用実践ガイド：日本企業の変革事例

日本企業においてAIは、単なる業務効率化ツールから、業績評価やビジネスプロセスを根本から変革する戦略的技術へと進化しています。
本インフォグラフィックは、調査データと実際の企業事例に基づき、AI導入がもたらす定量的なメリットと、営業・人事部門における具体的な活用方法を解説します。

営業部門のAI活用例

提案準備の自動化

AIが顧客情報を要約・資料作成を支援し、準備時間を最大95%削減します。



商談内容の分析と可視化

AIが商談音声を解析し、トークの改善点や成功パターンを抽出します。



高精度な見込み顧客の選定

膨大なデータから成約可能性の高いターゲットをAIが自動でリストアップします。



人事部門のAI活用例

公正な人事評価の支援

属人的な基準を排し、多角的なデータに基づき客観的な評価を補助します。



エンゲージメント向上と離職防止

AIが勤怠やサーベイ結果を分析し、離職リスクの兆候を早期に検知します。



最適な人材配置とキャリア開発

社員のスキルや希望を分析し、最適なポストや研修を提案します。



AIがもたらす事業へのインパクト

大幅な時間削減と売上向上を両立



18.6万時間

パナソニック：年間業務削減

3倍

三井住友海上：成約率3倍達成

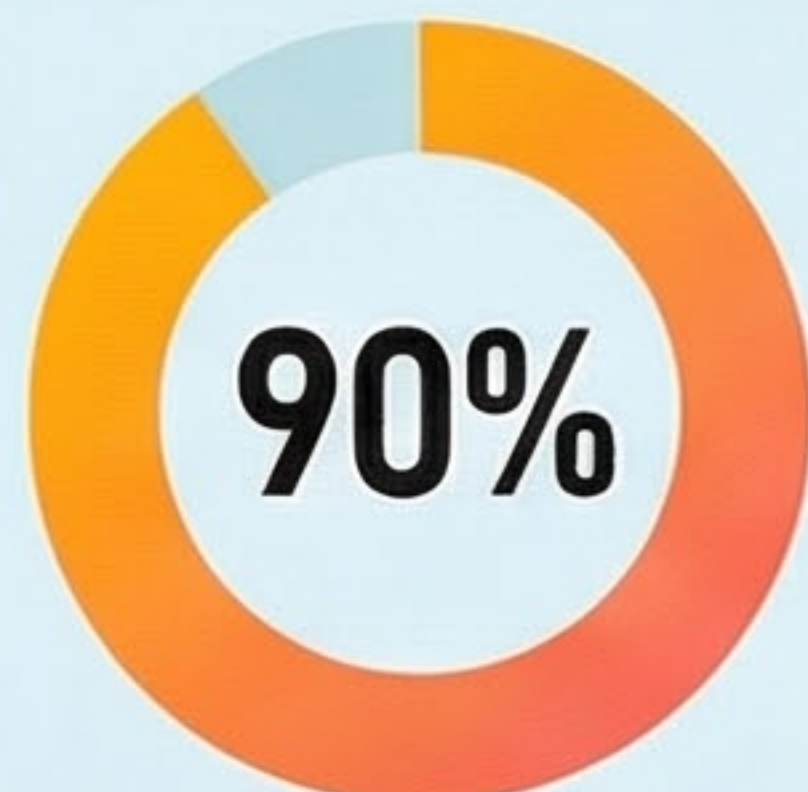
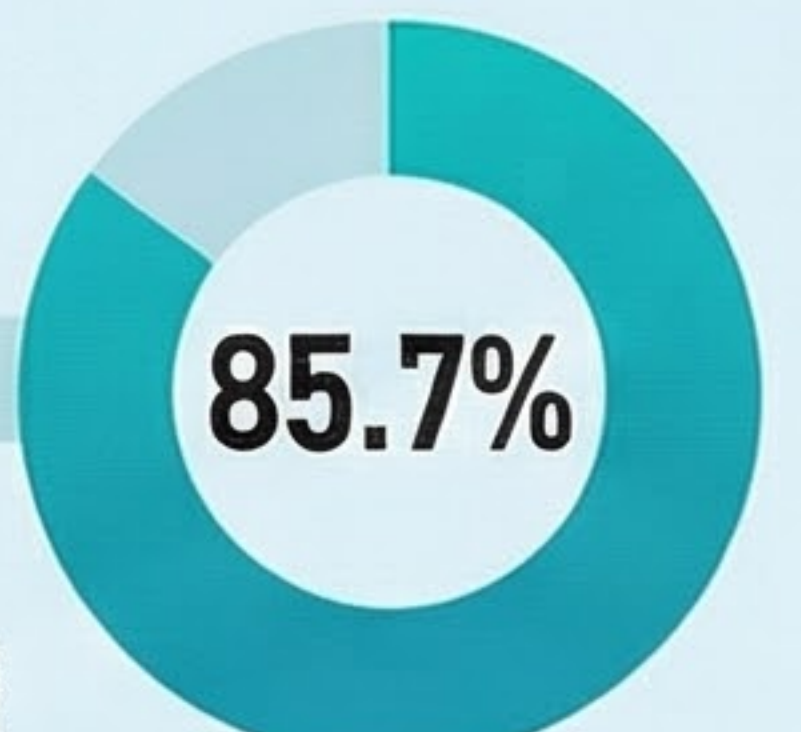


人事・労務担当者の
約4割がAIを利用中



そのうち85.7%が
AIによる業務効率化を実感

85.7%



AI活用企業の90%が
KPI改善を報告

業務評価指標をAIで高効率化し、
ビジネス成果を向上させています。